

平成 23 年度公益社団法人日本水産学会定時社員総会議事録

平成 23 年 9 月 30 日(金)13 時 00 分より、長崎県長崎市文教町 1-14、長崎大学文教キャンパス中部講堂において定時社員総会を開催した。

議決権のある当法人社員総数	3,066 名
総社員の議決権の数	3,066 個
出席社員数（委任状による者を含む。）	2,071 名
この議決権の総数	2,071 個

出席代表理事 竹内俊郎

出席理事 青木一郎、板橋 豊、江口 充、岡本信明、北田修一、黒倉 壽、越塩俊介、桜井泰憲、藤 實、杉田治男、竹内俊郎、塚本勝巳、原 彰彦、鷺尾圭司

出席監事 阿部宏喜

以上のとおり出席があったので、定款の規定により、議長として、萩原篤志氏が推薦され、承認された。萩原篤志は、議長席につき、本総会は適法に成立したので開会する旨を宣した。竹内俊郎会長、橘勝康平成 23 年度秋季大会委員長の挨拶の後、議事に入った。

第 1 号議案 平成 22 年度事業報告及び決算の承認に関する件

議長は、平成 22 年度（自平成 22 年 3 月 1 日至平成 23 年 2 月 28 日）における事業状況を事業報告及び附属書類により詳細に説明報告し、収支決算、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録が提出され、監事から監査報告があり、審議の結果、別記のとおり承認可決した。

第 2 号議案 理事 3 名選任の件

下記のとおり理事候補者案が提出され、審議の結果、これを承認可決した。

理事 齋藤壽典、佐藤秀一、和田時夫

第 3 号議案 名誉会員の推薦の件

会員の山中英明氏および渡辺悦生氏を名誉会員とする案が提出され、審議の結果、これを承認可決した。

第 4 号議案 その他

本法定款の一部変更案が提出され、審議の結果、別記のとおり承認可決した。

報告事項 別添資料に基づき、次のとおり報告があった。

- (1) 平成 23 度事業計画について報告
- (2) 平成 23 度収支予算書について報告
- (3) 平成 23 度収支予算書内訳表について報告

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、15 時 15 分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録作成者がこれに記名押印する。

平成 23 年 9 月 30 日

平成 23 年度公益社団法人日本水産学会定時社員総会

第 1 号議案

平成 22 年度事業報告（案）

本学会の目的達成のため、定款に定められた次の各事項の事業を行った。

1. 研究発表会および学術講演会の開催（定款第 5 条一）

1) 研究発表会

a) 春季大会：平成 22 年 3 月 26 日(金)～30 日(火)、於日本大学生物資源科学部（神奈川県藤沢市）

大会委員長 吉原喜好

研究発表 口頭 690 題、ポスター 215 題、計 905 題

シンポジウム 6 件 演題 69 題、ミニシンポジウム 2 件 演題 10 題

平成 21 年度学会賞受賞者講演 11 題

参加者数 名誉会員 6 名, 正会員 876 名, 学生会員 364 名, 賛助会員 12 名, 非会員 98 名, 計 1,356 名

- b) 秋季大会: 平成 22 年 9 月 22 日(水)~25 日(土), 於京都大学総合人間学部および百周年時計台記念館 (京都府京都市)

大会委員長 平田 孝

研究発表 口頭 242 題, ポスター 302 題, 計 544 題

シンポジウム 4 件 演題 32 題, ミニシンポジウム 4 件 演題 20 題

参加者数 名誉会員 4 名, 正会員 508 名, 学生会員 244 名, 賛助会員 13 名, 非会員 56 名, 計 825 名

2) シンポジウム

春季大会開催時 (平成 22 年 3 月 26 日, 30 日, 於日本大学生物資源科学部)

- a) 「魚介類生産の場としての浅海域の生態系サービス」演題 13 題

企画責任者: 山下 洋・仲岡雅裕・河村知彦・堀 正和・小路 淳, 参加者数 会員 103 名, 非会員 24 名, 計 127 名

- b) 「クロマグロ養殖業—技術開発と事業展開・展望—」演題 12 題

企画責任者: 小野征一郎・有元 操・竹内俊郎・熊井英水, 参加者数 会員 88 名, 非会員 27 名, 計 115 名

- c) 「水産資源の有効利用とゼロエミッション」演題 14 題

企画責任者: 坂口守彦・高橋是太郎, 参加者数 会員 48 名, 非会員 22 名, 計 70 名

- d) 「カワウによる漁業被害防除の方策—カワウ問題の抜本的な解決をめざして—」演題 13 題

企画責任者: 村上眞裕美・箱山 洋・井口恵一朗・赤嶺達郎・佐藤克文, 参加者数 会員 41 名, 非会員 35 名, 計 76 名

- e) 「水産環境における化学物質汚染の現状・評価・対策」演題 10 題 (主催 水産環境保全委員会)

企画責任者: 大嶋雄治・藤井一則・堀口敏宏, 参加者数 会員 33 名, 非会員 18 名, 計 51 名

- f) 「水産技術者の業務と技術者倫理」演題 7 題 (主催 水産教育推進委員会)

企画責任者: 萩原篤志・久下善生・佐藤秀一・良永知義, 参加者数 会員 45 名, 非会員 14 名, 計 59 名

秋季大会開催時 (平成 22 年 9 月 25 日, 於京都大学総合人間学部および百周年時計台記念館)

- a) 「日本産水産物の高付加価値化—サンマのグローバルマーケティングの取組みに向けて—」演題 12 題

企画責任者: 村田昌一・金庭正樹・北川雅彦・岡崎恵美子・木村郁夫, 参加者数 会員 38 名, 非会員 6 名, 計 44 名

- b) 「アンチエイジングを目指した水産物の利用」演題 10 題

企画責任者: 平田 孝・菅原達也, 参加者数 会員 35 名, 非会員 15 名, 計 50 名

- c) 「微生物ゲノムが拓く水産の新たな潮流」演題 10 題

企画責任者: 左子芳彦・吉田天士・澤辺智雄, 参加者数 会員 33 名, 非会員 14 名, 計 47 名

- d) 「日本の水産環境諸学から生物多様性条約第 10 回締約国会議への提言」(主催 水産環境保全委員会, 共催 水産海洋学会・沿岸環境関連学会連絡協議会)

企画責任者: 清野聡子・山本民次・桜井泰憲・河野 博, 参加者数 会員 24 名, 非会員 3 名, 計 27 名

3) ミニシンポジウム

春季大会開催時 (平成 22 年 3 月 26 日, 於日本大学生物資源科学部)

- a) 「沿岸海域の生物に関する定量的予測評価」演題 5 題

企画責任者: 清野通康・三浦正治・中村義治・松本正喜・矢代幸太郎, 参加者数 会員 25 名, 非会員 17 名, 計 42 名

- b) 「海洋深層水の新たな展開」演題 5 題

企画責任者: 今田千秋, 参加者数 会員 18 名, 非会員 17 名, 計 35 名

秋季大会開催時 (平成 22 年 9 月 22 日, 於京都大学総合人間学部および百周年時計台記念館)

- a) 「海洋動物の群れを考える—社会性・生態・遺伝子の視座から—」演題 5 題

企画責任者: 池田 譲・益田玲爾, 参加者数 会員 37 名, 非会員 5 名, 計 42 名

- b) 「沿岸域における有害有毒プランクトンの発生メカニズムと予知」演題 5 題

企画責任者: 今井一郎・山口峰生・松岡数充, 参加者数 会員 46 名, 非会員 19 名, 計 65 名

- c) 「瀬戸内海の栄養塩不足とその対策—河川水利用技術の開発—」演題 5 題

企画責任者：藤原建紀・渡辺康憲，参加者数 会員 29 名，非会員 53 名，計 82 名

d) 「海洋高次捕食者と漁業との競合問題—食害対策における情報の共有化—」演題 5 題

企画責任者：大泉 宏・堀井善弘・岩崎俊秀，参加者数 会員 29 名，非会員 2 名，計 31 名

4) 各支部の活動

a) 北海道支部

①支部大会（平成 22 年 12 月 11 日～13 日），於室蘭市文化センター（北海道室蘭市）

シンポジウム「知っていますか？ 「つくり育てる漁業」の最前線—未来に向けた新たな取り組みと資源の有効利用—」演題 7 題

若手の会講演会「全ゲノム重複と魚類の進化：次世代シーケンサー大量配列決定による新展開の可能性」演題 1 題

一般研究発表 33 題，参加者数 会員 54 名，非会員 337 名，計 91 名

b) 東北支部

①支部大会（平成 22 年 11 月 5 日・6 日），於東北大学農学部（宮城県仙台市）

ミニシンポジウム「外来生物による水産業と生態系への影響」演題 9 題

一般研究発表 12 題，参加者数 74 名

②支部例会（平成 23 年 2 月 4 日），於東北大学農学部

特別講演 演題 2 題，参加者数 62 名

c) 関東支部

①講演会（平成 22 年 10 月 24 日），於日本大学生物資源科学部（神奈川県藤沢市）

「海の生物を知ろう」演題 7 題，参加者数 会員 11 名，非会員 89 名，計 100 名

d) 中部支部

①支部大会（平成 22 年 11 月 26 日），於静岡県水産技術研究所（静岡県焼津市）

ミニシンポジウム「カツオ丸ごと早分かり」演題 5 題

一般研究発表 11 題，ポスター発表 7 題，参加者数 会員 44 名，非会員 50 名，計 94 名

e) 近畿支部

①前期例会（平成 22 年 7 月 24 日），於近畿大学農学部（奈良県奈良市）

シンポジウム「琵琶湖の魚とその利用」演題 3 題，参加者数 会員 26 名，非会員 26 名，計 52 名

ふなずし講習会「ふなずしを作ろう！」参加者数 会員 3 名，非会員 20 名，計 23 名

②後期例会（平成 22 年 12 月 11 日），於近畿大学農学部

一般研究発表 9 題，参加者数 会員 44 名，非会員 14 名，計 58 名

f) 中国・四国支部

①支部大会（平成 22 年 12 月 5 日），於水産大学校（山口県下関市）

一般研究発表 18 題，参加者数 会員 35 名，非会員 25 名，計 60 名

g) 九州支部

①支部例会（平成 22 年 10 月 24 日），於鹿児島大学水産学部（鹿児島県鹿児島市）

シンポジウム「南九州における最近の水産トピックス」演題 9 題，参加者数 会員 52 名，非会員 9 名，計 61 名

②支部大会（平成 23 年 1 月 22 日），於鹿児島大学水産学部

一般講演 13 題，ポスター発表 4 題，参加者数 会員 53 名，非会員 14 名，計 67 名

5) 委員会の活動

a) 水産環境保全委員会

①シンポジウム（平成 22 年 3 月 30 日），於日本大学生物資源科学部

「水産環境における化学物質汚染の現状・評価・対策」演題 10 題，参加者数 会員 33 名，非会員 18 名，計 51 名

②シンポジウム（平成 22 年 9 月 25 日），於京都大学総合人間学部

「日本の水産環境諸学から生物多様性条約第 10 回締約国会議への提言」参加者数 会員 24 名，非会員 3 名，計 27 名

b) 漁業懇話会委員会

①第56回講演会（平成22年3月26日），於日本大学生物資源科学部

講演「水産業における技術連携 ―漁業技術との関連を軸に―」演題5題，参加者数 会員39名，非会員19名，計58名

②第57回講演会（平成22年9月22日），於京都大学総合人間学部

講演「大学における漁業技術・漁業研究に必要な教育内容と教科書とは」演題12題，参加者数 会員62名，非会員10名，計72名

c) 水産利用懇話会委員会

①平成22年度第1回講演会（平成22年10月29日），於日本大学生物資源科学部

講演「ユニバーサルデザインフードの現状と課題」演題2題，参加者数 会員17名，非会員9名，計26名

②平成22年度第2回講演会（平成23年2月22日），於日本大学生物資源科学部

講演「食物アレルギーを巡る最近の話題」演題3題，参加者数 会員16名，非会員15名，計31名

d) 水産増殖懇話会委員会

①平成22年度第1回講演会（平成22年9月22日），於京都大学総合人間学部

講演「里海の水産増養殖による利用」演題5題，参加者数 会員70名，非会員14名，計84名

②平成22年度第2回講演会（平成23年1月29日），於東京海洋大学品川キャンパス

講演「養殖魚の安全管理手法と認証―現状と課題―」演題7題，参加者数 会員27名，非会員56名，計83名

e) 国際交流委員会

①アメリカ水産学会との交流

2010年9月第140回アメリカ水産学会大会（ピッツバーグ）へ委員派遣

2010年10月東京にて第3回日米水産合同シンポジウムなどを協議

②イギリス諸島水産学会との交流

2010年7月日米英水産学会合同シンポジウム（ベルファスト）の開催と講演者派遣

③中国水産学会との交流

2010年10月北京にて日中水産学会学術交流協定の締結や交流内容に関する意見交換

2011年1月日中水産学会学術交流協定の締結

④韓国水産科学会との交流

平成22年度日本水産学会大会に招聘

2010年11月韓国水産科学会（釜山）へ委員派遣，招待講演者の選考および派遣

⑤アジア水産学会との交流

⑥世界水産学協議会との連携

2010年7月非公式会議（ベルファスト）への委員派遣

⑦水産教育プログラムの推進

⑧FAOとの連携

⑨PICESとの連携

f) 水産教育推進委員会

①シンポジウム（平成22年3月26日），於日本大学生物資源科学部

「水産技術者の業務と技術者倫理」演題7題，参加者数 会員45名，非会員14名，計59名

②勸農学会技術者教育推進委員会委員への派遣

③JABEEプログラム審査長，審査員，オブザーバー派遣への助言

④中高生向けの情報として水産学会HPに各大学・機関HPのリンクを推進

⑤数学・物理学の教科書作成を推進

⑥技術者倫理とデザイン教育に関する教科書作成を推進

⑦技術士継続研鑽CPD票の配布

g) 水産政策委員会

①COP10サイドイベント共同参加

2. 学会誌および学術図書の刊行（定款第5条二）

1) 学会誌

- a) 日本水産学会誌第76巻2号～第77巻1号まで計6冊
[報文62編，総説，企画記事，会告，会報等 総ページ1,214ページ（各号4,200部発行）]
- b) Fisheries Science第76巻2号～第77巻1号まで計6冊
[報文116編，総説等総ページ1,056ページ（各号800部発行）]

2) 水産学シリーズ

- a) 第164号「魚介類アレルゲンの科学」塩見一雄，佐伯宏樹編，449部発行
- b) 第165号「生鮮マグロ類の高品質管理—漁獲から流通まで」今野久仁彦，落合芳博，福田 裕編，441部発行
- c) 第166号「漁灯を活かす技術・制度の再構築へ」稲田博史，有元貴文，長島徳雄，飯田浩二編，1,010部発行
- d) 題167号「「里海」としての沿岸域の新たな利用」山本民次編，450部発行

3) ベルソープックス

- a) 033「クロダイの生物学 チヌの釣魚学」海野徹也著，2,000部発行
 - b) 034「海のトワイライトゾーン」齋藤宏明著，2,000部発行
 - c) 035「イセエビをつくる」松田浩一著，2,000部発行
 - d) 036「フグはフグ毒をつくらない」野口玉雄著，2,000部発行
- 重版
- e) 003「魚の発酵食品」（改訂4版）藤井建夫，1,000部発行
 - f) 004「魚との知恵比べ」（3訂版）川村軍蔵著，3,000部発行
 - g) 033「クロダイの生物学 チヌの釣魚学」（初版再版）海野徹也著，1,000部発行

4) 水産技術誌

- a) 水産技術 第2巻2号，1,700部発行
- b) 水産技術 第3巻1号，1,700部発行

3. 関連学会等との連絡および協力（定款第5条三）

1) 共催

- a) 2010年度日本農芸化学会大会シンポジウム「水産動物における生理現象とその物質的基盤」
主催 日本農芸化学会
日程 平成22年3月30日，於東京大学駒場キャンパス（東京都目黒区）
- b) 第47回アイソトープ・放射線研究発表会
主催 日本アイソトープ協会，共催 応用物理学会 他60団体
日程 平成22年7月7日～9日，於日本科学未来館（東京都江東区）

2) 協賛

- a) 第45回海中海底工学フォーラム
主催 海中海底工学フォーラム運営委員会，協賛 日本船舶海洋工学会 他5団体
日程 平成22年4月16日，於東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）
- b) 2010生態工学会年次大会
主催 生態工学会，協賛 日本航空宇宙学会 他11団体
日程 平成22年5月14日・15日，於沖縄県農業研究センター（沖縄県糸満市）
- c) 食品ハイドロコロイドセミナー2010
主催 食品ハイドロコロイド研究会，協賛 化学工学会 他26学協会
日程 平成22年5月20日，於日本教育会館（東京都千代田区）
- d) 第21回食品ハイドロコロイドシンポジウム
主催 食品ハイドロコロイド研究会，協賛 化学工学会 他26学協会
日程 平成22年5月21日，於日本教育会館
- e) 第13回マリンバイオテクノロジー学会大会
主催 マリンバイオテクノロジー学会，協賛 日本薬学会 他20団体
日程 平成22年5月29日・30日，於広島大学 東広島キャンパス（広島県東広島市）

- f) 平成 22 年度 第 1 回油化学セミナー
主催 日本油化学会関東支部, 協賛 日本家政学会 他 4 団体
日程 平成 22 年 6 月 4 日, 於東京理科大学森戸記念館 (東京都新宿区)
 - g) 第 55 回低温生物工学大会 (セミナー及び年会)
主催 低温生物工学会, 協賛 日本低温医学会 他 9 学会
日程 平成 22 年 6 月 25 日・26 日, 於東京工業大学大岡山キャンパス (東京都目黒区)
 - h) 平成 22 年度 JABEE 農学系分野審査講習会
主催 農業農村工学会, 農学会 他 2 団体, 協賛 砂防学会 他 24 学会
日程 平成 22 年 7 月 24 日, 於東京大学弥生講堂 (東京都文京区)
 - i) 第 8 回付加価値食品開発のためのフォーラム
主催 日本食品機械研究会, 協賛 日本食品科学工学会 他 14 学会
日程 平成 22 年 8 月 26 日・27 日, 於富士教育研修所 (静岡県裾野市)
 - j) 2010 年度日本冷凍空調学会年次大会
主催 日本冷凍空調学会, 協賛 エネルギー・資源学会 他 31 団体
日程 平成 22 年 9 月 15 日～17 日, 於金沢大学自然科学本館 (石川県金沢市)
 - k) 第 46 回海中海底工学フォーラム
主催 海中海底工学フォーラム運営委員会, 協賛 日本船舶海洋工学会 他 6 団体
日程 平成 22 年 10 月 1 日, 於東京大学大気海洋研究所講堂 (千葉県柏市)
 - l) Techno-Ocean2010
主催 テクノオーシャンネットワーク, 協賛 土木学会 他 81 団体
日程 平成 22 年 10 月 14 日～16 日, 於神戸国際展示場 (兵庫県神戸市)
 - m) 第 51 回高圧討論会
主催 日本高圧力学会, 協賛 応用物理学会 他 43 団体
日程 平成 22 年 10 月 20 日～22 日, 於仙台市戦災復興記念館 (宮城県仙台市)
 - n) 2010 年度生態工学・定例シンポジウム
主催 生態工学会, 協賛 照明学会 他 11 団体
日程 平成 22 年 11 月 5 日, 於東京大学弥生講堂
 - o) 第 22 回研究成果発表会
主催 海洋調査技術学会, 協賛 海中海底工学フォーラム 他 17 学協会
日程 平成 22 年 11 月 25 日・26 日, 於海上保安庁海洋情報部 (東京都中央区)
 - p) よこはま大学開港塾: APEC 横浜開催関連第 13 回シンポジウム「環太平洋の海洋問題」
主催 横浜国立大学統合的的海洋教育・研究センター, 協賛 日本沿岸域学会 他 5 団体
日程 平成 22 年 11 月 29 日, 於横浜市開港記念会館 (神奈川県横浜市)
 - q) 第 10 回基準油脂分析試験法セミナー
主催 日本油化学会, 協賛 日本農芸化学会 他 4 学会
日程 平成 22 年 12 月 2 日・3 日, 於東京理科大学森戸記念館
 - r) 鉄鋼スラグ海域利用に関するシンポジウム—鉄イオンによる海の森づくりと地球温暖化防止への期待—
主催 日本鉄鋼協会・鉄鋼スラグ協会, 後援 経済産業省・環境省, 協賛 日本海洋学会 他 5 学会
日程 平成 22 年 12 月 6 日, 於東京大学山上会館 (東京都文京区)
- 3) 後援
- a) 国際シンポジウム「気候変動の魚類および漁業への影響: 影響の予測, 生態系応答と管理方策の評価」
主催 PICES, ICES, FAO, 水産総合研究センター, 北海道大学, 後援 水産庁 他 2 団体
日程 平成 22 年 4 月 25 日～29 日, 於仙台国際センター (宮城県仙台市)
 - b) RIETI セミナー「我が国における資源・環境問題に関する経済分析—水産業を例に」
主催 経済産業研究所, 後援 水産経済新聞 他 3 団体
日程 平成 22 年 5 月 20 日, 於経済産業研究所 (東京都千代田区)
 - c) シンポジウム「内湾の機能回復のための海と陸からのアプローチ」
主催 漁業用水問題研究会, 後援 水産海洋学会 他 6 学会

日程 平成 22 年 11 月 25 日, 於 GE カレッジホール (東京都世田谷区)

d) 生態工学会ミニシンポジウム「閉鎖循環式養殖システムにおける最近の動向と課題」

主催 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科・生態工学会

日程 平成 23 年 2 月 4 日, 於東京海洋大学品川キャンパス

- 4) 日本学術会議への協力
- 5) 日本農学会への協力
- 6) 勸農学会への協力
- 7) 学術の共同研究, 情報の交換
- 8) 海外との学術交流等
 - a) アメリカ水産学会との交流
 - b) 中国水産学会との交流
 - c) イギリス諸島水産学会との交流
 - d) 韓国水産科学会との交流
 - e) 世界水産学協議会, 世界水産学会議への協力
 - f) 国際連合食糧農業機関 (FAO) 水産養殖局との協力
 - g) 文献交換の斡旋
 - h) 外国人研究者との交流
 - i) その他

4. 研究業績の表彰 (定款第 5 条四)

1) 学会賞受賞者の決定

日本水産学会賞	田中 秀樹	「ウナギの人工種苗生産に関する研究」
日本水産学会功績賞	川合真一郎	「水環境中における環境化学物質の挙動と生態影響」
	児玉 正昭	「魚貝類の自然毒とくに麻痺性貝毒の代謝に関する一連の研究」
水産学進歩賞	吾妻 行雄	「海藻群落におけるウニ類の個体群動態に関する生態学的研究」
	井口恵一朗	「アユの生態学的研究」
	太田 博巳	「魚介類の良質精子作出・保存法の開発に関する研究」
	鈴木 徹	「異体類の左右非対称性形成と稚魚発生機構に関する研究」
	永井 宏史	「刺胞動物の刺傷原因タンパク質毒素に関する化学的研究」
水産学奨励賞	足立 亨介	「水産物の黒色変化に関する生化学的解析」
	芳賀 穰	「ヒラメ人工種苗の形態異常の防除に向けた脂溶性ビタミン過剰モデルの構築に関する研究」
	安間 洋樹	「中深層性魚類マイクロネクトンの音響計測に関する研究」
	渡邊 俊	「ウナギ属魚類の分類に関する研究」
水産学技術賞	宇藤 (飯田) 朋子・堀江 則行	「マアナゴの種苗生産技術に関する研究」
	桑原 浩一	「クエン酸ナトリウムの多機能を応用したスルメイカからの新規ねり製品製造技術の開発」
	丸山 功	「淡水産緑藻「クロレラ」の餌料生物用培養餌料としての開発」
	吉岡 武也	「スルメイカの高鮮度保持・流通技術の開発」

2) 日本水産学会論文賞の決定

- a) Fisheries Science 第 76 巻 1 号 : 45-53 ページ
Growth and maturation of Pacific saury *Cololabis saira* under laboratory conditions
中屋光裕, 森岡泰三, 福永恭平, 村上直人, 市川 卓, 関谷幸生, 巢山 哲
- b) Fisheries Science 第 76 巻 2 号 : 257-265 ページ
Development of an *in vitro* culture system for producing eel larvae from immature ovarian follicles in Japanese eel *Anguilla japonica*
安部智貴, 井尻成保, 足立伸次, 山内皓平

- c) Fisheries Science 第76巻2号: 315-324 ページ
Effect of environmental factors, especially hypoxia and typhoons, on recruitment of the gazami crab *Portunus trituberculatus* in Osaka Bay, Japan
有山啓之, David H. Secor
 - d) Fisheries Science 第76巻5号: 795-801 ページ
Spawning induced by cubifrin in the Japanese common sea cucumber *Apostichopus japonicus*
藤原篤志, 山野恵祐, 大野 薫, 吉国通庸
 - e) Fisheries Science 第76巻5号: 827-831 ページ
Faster growth before metamorphosis leads to a higher risk of pseudoalbinism in juveniles of the starry flounder *Platichthys stellatus*, as suggested by otolith back-calculation
西川泰造, 有瀧真人, 清水大輔, 和田敏裕, 田中 克, 田川正朋
 - f) 日本水産学会誌 第76巻2号: 169-184 ページ
絶滅のおそれのある日本産淡水魚の生態的特性の解明
棗田孝晴, 鶴田哲也, 井口恵一朗
 - g) Fisheries Science 第75巻1号: 257-259 ページ
Discovery of mature freshwater eels in the open ocean (Short paper)
張 成年, 黒木洋明, 望岡典隆, 加治俊二, 岡崎 誠, 塚本勝巳
 - 3) 第3回海洋立国推進功労者表彰「海洋に関する顕著な功績」分野「水産振興」部門の推薦
近畿大学水産研究所
 - 4) 遠山椿吉記念 第2回 食と環境の科学賞受賞者の推薦
塩見 一雄 「魚介類アレルゲンの同定と分子生物学的性状の解明ならびに検査法開発に関する研究」
 - 5) 第9回日本農学進歩賞受賞者の推薦
北川 貴士 「クロマグロ *Thunnus orientalis* の行動生態と水温適応機構に関する研究」
5. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条五）
- 1) 通常総会1回（平成22年3月28日），於日本大学生物資源科学部
 - a) 平成21年度事業報告ならびに収支決算，貸借対照表，正味財産増減計算書，財産目録および監査報告の承認
 - b) 平成22年度事業計画案および収支予算案の承認
 - c) 平成23年度事業計画案および収支予算案の定款第40条2項による取り扱いの承認
 - d) 役員（理事および監事）選任の承認
 - e) 名誉会員の承認
 - f) 定款第11条三による平成21年度除名者の承認
 - g) 公益社団法人への移行，公益社団法人日本水産学会定款案，規則案および認定申請時における定款，規則の軽微な修正対応の理事会一任について承認
 - 2) 理事会7回
平成22年度第3回（平成22年3月28日），於日本大学生物資源学部
 - a) 会長，副会長の選出
 - b) 理事の担当部門の決定
 - c) 会長指名理事候補者の選出
 - d) 平成22年度総会における議決事項の確認
 - e) 財務検討特別委員会委員長および委員を選出
 - f) 公益法人化対応特別委員会委員長および委員を選出
 - g) 入会者の承認
 - h) 平成22年度秋季大会の運営業者を承認。発表方法の変更案について審議。
 - 平成22年度第4回（平成22年6月12日），於東京海洋大学品川キャンパス
 - a) 会長指名理事候補者の承認
 - b) 会長指名評議員候補者の承認
 - c) 学会賞選考委員会委員の辞任申し出の承認

- d) 公益法人化対応特別委員会の委員追加を承認
- e) 短時間勤務有期雇用職員就業規則一部改正の承認
- f) 職員給与規則一部改正の承認
- g) 事務局職員の特別昇給の承認
- h) 学会賞授賞規程一部改正（案）の審議
- i) 平成 22 年度支部交付金の配分額の承認
- j) Fisheries Science の印刷先について審議
- k) 受賞候補者の推薦を承認
- l) 募集期間内に理事会の承認を得られない他団体が募集する賞への推薦については、学会賞選考委員会の選考に一任し、推薦後直近の理事会で承認を得るとした
- m) 平成 23 年度春季大会開催事項の承認
- n) 平成 24 年度秋季大会担当支部の依頼を承認
- o) 水産教育推進委員会の教科書作成について報告
- p) 生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）サイドイベント出展対応の環境保全委員会一任を承認
- q) 公益社団法人移行認定に向けた定款の変更を承認
- r) 科研費の分科・細目の見直しについて審議
- s) 大学間連携国内海外社会調査実習の支援を承認
- t) 国家公務員採用試験基本的見直しに関する意見募集の学会の対応について審議
- u) 外国会員入会取り消しについて承認
- v) 協賛，後援の承認
- w) 名誉回復申立書への対応について調査委員会設置を提案し，これを承認
- x) 平成 22 年度理事会開催日程の承認
- y) 夏季一斉休業について承認
- z) 入会者の承認

平成 22 年度第 5 回（平成 22 年 9 月 22 日），於京都大学吉田キャンパス

- a) 平成 23 年度永年会員候補者の承認
- b) 公益社団法人移行認定の申請書類（定款変更案等）を承認
- c) 公益社団法人移行認定に向けた規則および規程見直しを承認
- d) 昇給，昇格に関する基準の承認
- e) 平成 23 年度春季大会の運営者を承認
- f) 平成 23 年度秋季大会開催事項の承認
- g) 平成 24 年度秋季大会担当支部の承認
- h) 春季大会中高生ポスター発表事業の経常経費化を承認
- i) シュプリングジャーナル・ジャパン(株)との印刷費等契約について審議
- j) Fisheries Science のページチャージ見直しについて審議
- k) 平成 23 年度春季大会日韓合同シンポジウム経費の承認
- l) 事務機能合理化推進資金計画の承認
- m) 科研費「系・分科・細目表」に関する意見書について審議
- n) 第 9 回日本農学進歩賞受賞候補者の推薦を承認
- o) アクションプランについて審議
- p) 男女共同参画学協会連絡会正式加盟の申請を承認
- q) JICA 契約競争参加者資格登録及びコンサルタント等登録の廃止を承認
- r) 名誉回復申立書への学会の対応について承認
- s) 学会ホームページの移行を承認
- t) 協賛，ロゴマーク使用の承認
- u) 入会者の承認

平成 22 年度第 6 回（平成 22 年 12 月 18 日），於東京海洋大学品川キャンパス

- a) 名誉会員の推薦の審議

- b) 公益社団法人日本水産学会定款の修正（案）の審議
- c) 平成 22 年度学会賞受賞者の決定
- d) 論文賞授賞規程一部改正の承認
- e) 職員育児・介護休業規程一部改正の承認
- f) 公益社団法人日本水産学会役員候補者等選出規程の修正を承認
- g) 新規規程「リスク管理規程」の承認
- h) 公益社団法人移行認定に向けた規程修正の承認
- i) 公益社団法人移行認定後の基金および寄附金について承認
- j) 平成 24 年度春季大会担当機関の承認
- k) 平成 24 年度秋季大会担当機関の承認
- l) 春季大会中高生ポスター事業費の承認
- m) 会員購読の促進方法について、Fisheries Science 77 巻の頒布方法を承認
- n) 恒星社厚生閣との出版契約の承認
- o) COP10 に対応した日本水産学会からの提言について審議
- p) 独自ドメイン取得，民間ホスティングサービスへの移行を承認
- q) 広告代理店との契約解除交渉を承認
- r) 平成 23 年度日本農学賞受賞候補者の推薦の承認
- s) 平成 23 年度日本農学会評議員，運営委員選出の承認
- t) 東京湾海洋環境研究委員会への参加，出版物同意を再承認
- u) 共催，後援，協賛依頼の承認
- v) 入会者の承認

平成 22 年度第 7 回（平成 23 年 2 月 5 日），於東京海洋大学品川キャンパス

- a) 平成 22 年度事業報告案，収支決算案および特別会計決算案の審議
- b) 平成 23 年度事業計画案，収支予算案，特別会計予算案および収支予算書の審議
- c) 役員（理事）選任の審議
- d) 名誉会員推薦の審議
- e) 平成 22 年度資格喪失予定者は理事会で審議することを承認
- f) 名誉会員追悼文の学会誌掲載を承認
- g) 公益社団法人移行認定後の評議員，支部評議員，支部長，各種委員会等の扱いについて承認
- h) 旧評議員懇談会開催の承認
- i) 平成 22 年度日本水産学会論文賞の承認
- j) 公益社団法人移行認定に向けた規程見直しを承認
- k) 会員名簿作成の承認
- l) 水産増殖懇話会委員会委員交代の承認
- m) 水産環境保全委員会から提出された COP10 に対応した提言を承認
- n) 「海とさかな」自由研究・作品コンクールへの協力を承認
- o) 海洋生物多様性保全戦略へのパブリックコメントを承認
- p) 共催，協賛依頼の承認
- q) 平成 22 年度第 5 回理事会議事録修正のメール稟議承認を確認
- r) 平成 23 年度秋季大会時に理事会主催ミニシンポジウム開催を承認
- s) 入会者の承認

3) 委員会

- | | |
|----------------|-----|
| a) 編集委員会 | 5 回 |
| b) 企画広報委員会 | 6 回 |
| c) 学会賞選考委員会 | 2 回 |
| d) シンポジウム企画委員会 | 2 回 |
| e) 出版委員会 | 2 回 |
| f) ベルソープックス委員会 | 3 回 |

- g) 水産環境保全委員会 2回
 - h) 漁業懇話会委員会 2回
 - i) 水産利用懇話会委員会 3回
 - j) 水産増殖懇話会委員会 3回
 - k) 国際交流委員会 2回
 - l) 選挙管理委員会 1回
 - m) 水産教育推進委員会 4回
 - n) 水産技術誌監修委員会 1回
 - o) 水産政策委員会 2回
 - p) 財務検討委員会（特別委員会） 1回
 - q) 公益法人化対応委員会（特別委員会） メール会議のみ
 - r) 科学研究費補助金分科細目検討委員会（特別委員会） メール会議のみ
- 4) 支部
- a) 北海道支部 支部総会1回，支部評議員会1回
 - b) 東北支部 支部総会1回，支部評議員会2回，支部幹事会1回，評議員・幹事合同会議1回
 - c) 関東支部 支部評議員会1回
 - d) 中部支部 支部総会1回，支部評議員会1回
 - e) 近畿支部 支部総会1回，支部評議員会1回
 - f) 中国・四国支部 支部総会1回，支部評議員会1回
 - g) 九州支部 支部総会1回，支部評議員会3回

会 員 数 異 動 状 況（種別会員数）

種別	平成21年度末現在数	平成22年度異動							平成22年度末現在数	平成23年3月1日現在			
		入会	種別変更		死亡	退会	会員資格喪失者	除名		平成23年度より入会	種別変更		現在数
			入	出							入	出	
正会員 (内、永年会員)	3,095名 (58)	118名	42名 (6)	7名 (0)	9名 (5)	136名 (0)	37名 (0)	0名 (0)	3,066名 (59)	71名	25名 (8)	1名	3,161名 (67)
団体会員	176	1	0	0		5	0	0	172	0	0	0	172
賛助会員	68	0	0	0		1	0	0	67	0	0	0	67
外国会員	96	8	2	2	1	6	14	0	83	12	1	2	94
学生会員	270	355	4	40	0	312	0	0	277	192	0	23	446
名誉会員	22	0	1	0	1	0	0	0	22	0	0	0	22
合計	3,727	482	49	49	11	460	51	0	3,687	275	26	26	3,962

平成23年度3月1日現在支部別会員数（正会員・学生会員）

種別	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州	合計
正会員 (内永年会員)	336名 (4)	215名 (6)	977名 (30)	500名 (6)	299名 (7)	395名 (7)	439名 (7)	3,161名 (67)
学生会員	57	48	158	41	54	36	52	446